★勘定科目決算書（新決算書）

この新しい決算書式の発見は
新しい価値を提供する。
Up Down 方式経営分析の副産物

複式簿記から生まれている決算書は文字通り「別の顔」を持っている。

決算書のある勘定科目を取り上げ、その相手勘定を集計し一覧表を作成し、それを勘定科目決算書と称したとする。それは従来の決算書と同じくらいの重要性を持っていることに気づかされるであろう。なぜ我々はそこに気づかなかったのだろうかと。

勘定科目決算書と AI に聞くと、従来決算付属書として作成されていた「勘定科目明細表」が表示され説明される。勘定科目決算書は「勘定科目明細表」とは全く別物である。

相手勘定の集計で成り立っている「勘定科目決算書」というワンペーパーが今までなぜ登場しなかったのか。

その理由は、コンピュータが無い時代、それは計算が二重手間となりかつ手間のかかる仕事であったからに過ぎない。

今やコンピュータや AI の発達によりこの勘定科目決算書」は簡単に作ることが出来るだろう。そして、とてつもない「経営に役立つ財務諸表」となるだろう。

現在この世にない「勘定科目決算書」について始めて発言し提案するものである。
「勘定科目」ごとに一枚のペーパーを作成すればいい。勘定科目が 50 個あれば 50 枚の決算書となるがすべての勘定科目を作成する必要もないだろう。

勘定科目決算書における「キャッシュ」勘定を例にとろう。

キャッシュの増加は様々な取引から生まれる。それを年間で（月間で）相手勘定科目を相手勘定科目ごとに集計するだけだ。

勘定科目決算書は T 字形で表現されたとしよう。すると勘定科目（キャッシュ）決算書が完成する。右側（貸方）にキャッシュ増加の原因が列挙されることになる。一方左側（借方）にはキャッシュ減少の原因が列挙されることになるだろう。

キャッシュフロー計算書の類ではない、経営の急所を突く。さらに「勘定科目決算書」では、伝票の合計枚数まで表示されれば完璧だ。伝票は一枚一枚が取引つまり経営に於ける行動や労働量を示すとも言える。無駄な動きまで指摘できるかもしれない。

この勘定科目決算書により「今まで決算書では経営の半分しか見ていなかった」ことに気づかされるだろう。その露出性は恐ろしい発見とも言える。

もしこの公表を義務付けられたら、経営の決算の内実をさらけ出されることにもなる。

さらに経営の弱点がさらけ出されるだろう。

有形固定資産勘定を例にとると、その購入の原資までわかってしまう。取引全体を知ることは自社の経営について、強力な経営判断材料になるだろう。

令和 8 年 10 月 29 日　福島市(有)鈴木会計事務所　鈴木信行